



# 動物行動学者は.....

自然環境のなかで動物がどんなことをしているのかを調べている。

とくに注意して観察するのは、こんなときの様子だ。

- 仲間と、考えや気持ちを伝えあう（コミュニケーションする）、競争する、協力しあう
- 食べ物をさがす、自分を守る、ほかの場所へ引っ越す
- 子どもをつくるつがい相手を選ぶ、子どもを生んで育てる
- 困っている問題を切りぬける、そのとき考え出した方法を身につける



# 性格ってなんだろう？

あなたがほかの人と違うのは、あなただけの考え方や感じ方があって、あなただけのふるまい方をするから。人間以外の動物にも性格があるんだよ。

ハエでもイカでもガチョウでも、同じ種の2匹がいっしょにいたとしても、なんでも同じようにするわけじゃない。

バグやトラネコを2匹飼っている人なら、動物にも性格の違いがあるってことに気づいているかもしれないね。



## にぎやかな森 土のなかの秘密のおしゃべり

ぶん テラ・ケリー え マリー・ハーマンソン  
A4変型 32頁 定価:本体3,000円+税  
ISBN978-4-8433-6977-7 C6745

## 動物のことばがわかる本

作:ドクター・ニック・クラプトン  
イラスト:エイドリアン・バーマン  
B5判変型/上製 カバー装/オールカラー/116頁  
定価 本体 3,200円+税 ISBN978-4-8433-6960-9 C0045



好評既刊

ワタリガラスは、親せきや友だちを区別している？  
ニシンは、おならでコミュニケーションをとっている！？  
世界は、とてもかشこい生き物たちであふれている！



# 動物はどのくらいかしこいのかな？

ぶん  
リサ・デレステイ・ベティク  
え  
アレキサンダー・モストフ  
やく  
いとう のぶこ

ゆまに書房

## 2025年9月刊行予定

A4変判 48頁 定価:本体3,600円+税  
ISBN978-4-8433-6959-3 C6745  
ゆまに書房



ゆまに書房 〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-7-6 TEL:03-5296-0491 FAX:03-5296-0493 WEB:https://www.yumani.co.jp			
ご注文文書	<b>動物はどのくらいかしこいのかな?</b> 2025年9月刊行予定 A4変型 48頁 定価:本体3,600円+税 ISBN978-4-8433-6959-3 C6745	ご注文日 年 月 日	部数 部
	<b>にぎやかな森</b> 2025年9月刊行予定 A4変型 32頁 定価:本体3,000円+税 ISBN978-4-8433-6977-7 C6745	年 月 日	部
	<b>動物のことばがわかる本</b> 既刊 B5変型 116頁 定価:本体3,200円+税 ISBN978-4-8433-6960-9 C0045	年 月 日	部
お名前	TEL - -		

人間はかなりかしこい。

でも、人間が、地球上でいちばんかしこい生き物なの？

はじめに  
知能はいろいろ

人間以外の動物が

どれくらいかしこいのかを知るには、人間と同じことができるかどうかを比べてもたいしてよくはわからない。

それぞれの動物が生きている自然環境のなかで、どのようにして困った問題を切りぬけているのかとか、なにをして生き残ってきたのかとかを調べてみるといい。

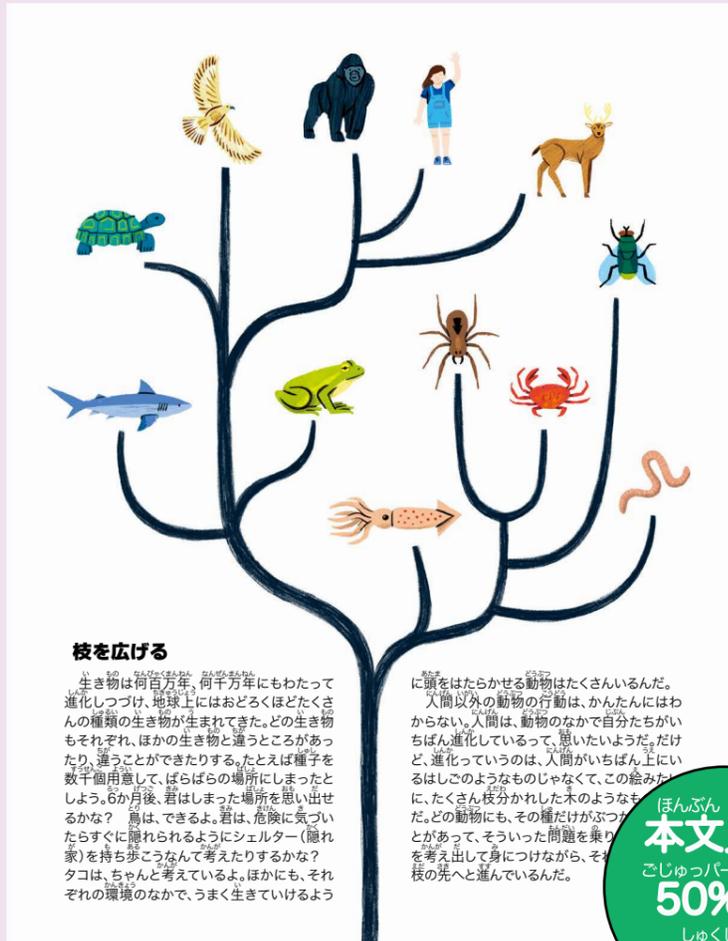
人間が考えたり学んだりするやり方が素晴らしいのは、たしかにそのとおり。

ただ、ほかの生き物にも、その生き物だけがもつ、知恵をはたらかせる力があるんだ。

生き物の世界には、みんながまだ知らないおもしろいことがたくさんあるんだよ。

進化は止まらない

チャールズ・ダーウィンが、種は親から子、子から孫へとつづくうちに体の特徴が少しずつ変わっていく、「進化する」という考えを思いついたんだ。



枝を広げる

生き物は何百万年、何千万年にもわたって進化しつづけ、地球上にはおどろくほどたくさんの種類の生き物が生まれてきた。どの生き物もそれぞれ、ほかの生き物と違うところがあったり、違うことができたりする。たとえば種子を数千個用意して、ばらばらの場所にしまったとしよう。6か月後、君はしまった場所を思い出せるかな？ 鳥は、できるよ。君は、危険に気づいたらすぐに隠れるようにシエルター（隠れ家）を持ち歩こうなんて考えたりするかな？ タコは、ちゃんと考えているよ。ほかにも、それぞれの環境のなかで、うまく生きていけるよ

頭をはたらかせる動物はたくさんいるんだ。人間以外の動物の行動は、かんたんにはわからない。人間は、動物のなかで自分たちがいちばん進化しているって、思いたいようだけど、進化しているのは、人間がいちばん上にいるはしごのようなものじゃなくて、この絵みたいに、たくさん枝分かれした木のようなんだ。どの動物にも、その種だけがぶつ切れて、そういつた問題を乗りこえる考え出して身につけながら、その枝の先へと進んでいるんだ。

本文見本 50%に縮小

第2章  
ささやきでコミュニケーション

人間以外の動物は私たちのような言葉は話せないけど、仲間どうしでコミュニケーションをとれるように進化してきたんだ。



第3章  
仲間といっしょがいい

動物は仲間の様子をじっと見て、なにを食べるかとか、どうやって危険をさけたらいいかとかを考えていたりしている。

第4章  
なんとか切りぬける

野生で暮らす生き物のまわりには危険がいっぱい！次々と降りかかる問題を切りぬけるためには、かしこく考える力がなくっちゃね。



第5章  
あふれ出る気持ち

動物って、ほんとうのところなにかを感じているんだろうか？じつは動物の行動や体の動き—姿勢、顔の表情、動作、鳴き声—が、いい手がかりになるんだ。

さいごに  
もっともっとよく知る

世界はかしこい生き物であふれている。私たち人間には、そんな生き物たちから学ぶことがまだまだたくさんあるってことをおぼえておいてね。



タコと石

タコも、作戦を考えて行動をする——割りにくい食べ物を食べるために道具を使うよね。ぶ厚いからの巻貝や二枚貝を大きな岩にぶつけることもあるし、おなかの上のせてバランスをとりながら石でたたくこともある。石をわきの下にしまっておいて、あとでもう一回使ったりもする。どのタコも生まれつき道具を使うことはできる。ただ、なかにはじょうずに道具を使いこなすタコもいる。そういうタコは練習をくり返して、やり方をしっかり身につけているんだ。どのタコもうまくできるというわけではない。ぶ厚いからの貝を食べるグループにいるタコほど、お母さんたちの割り方をよく見て勉強しているみたいだ。道具を使わないこともある。ということは、タコは、食べ物の種類に合わせた行動ができる——この食べ物は道具を使ったほうがいいのか、使わなくてもいいのかを考えて決められるってことだ。

タコも！

タコはじつに不思議な海の生き物だ。入り組んだ神経系をもっている。体のまんなかには大きな脳、8本のうでは数え切れないほどの神経細胞がある。1本1本のうでがそれぞれ自分で「考え」て、自分で動くことができる！タコは1匹ずつに個性がある、おもしろい生き物なんだ。探検をしたり、問題を解いたりする。楽しそうに遊ぶこともあるし、これから先に起こりそうなことに対して準備をしたりもする。

体の形、色、動きをすばやく変えて、岩や海藻や海の生き物のふりをして身を隠す。

からっぽになったココナツのからを集めて隠れ場所をつくる。

捕食者におそれそうになったときに隠れるるように、ココナツのからを持ち歩く。



岩に貝を打ちつけて割っているタコを調べてみると、右手を少しだけ上にずらしていた。私たちに利き手があるように、タコにも利き「手」があるようだ。



人間を見分けて、それぞれに違う行動をとる。

頭のなかで地図をつくって、行ったことのある場所のまわりがどんな様子だったかを覚えておく。

水槽のなかにあるびんをめぐって水を何度もふきかける。

タコを水槽で飼うのはむずかしい。なんでもばらばらにしてしまうから！

びんのふたを開けて、中のカニを食べることもできる。

